

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化会館通年開館事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	04	01	51
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化会館利用者	意図	年末年始を除き通年で文化会館を開館することで、利用できる日数を増やし利便性を高める。
事業内容	生涯学習等の活動の場を提供する機会の拡大として、年末年始を除き通年で文化会館を開館し、利用できる日数を増やす。			
事業開始から現在までの状況変化	平成15年度から祝日開館開始、平成16年度から何年末年始を除く通年開館（月曜日、祝日開館）を実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
指標	① 1日平均の利用件数の増減率	32.60	20.20	-4.20	%	↑↑↑	(当該年度/前年度) - 1	
	② 1日平均の利用人数の増減率	88.90	9	-17.60	%	↑↑↑	(当該年度/前年度) - 1	
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・費用対効果を考慮した効率的な施設提供を行う。 ・通年開館の利用については、周知されてきている。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		26,393,667	27,124,359	29,149,162				
事業費(b)(円)		23,834,867	23,375,159	23,057,762				
うち一般財源		23,834,867	23,375,159	23,057,762				
職員給与費(c)(円)		2,558,800	3,749,200	6,091,400				
人役・職員(人)				0.22				
人役・再任用(人)				0.10				
人役・臨職(人)		1.80	3.10	3.40				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	通年開館の周知と利用しやすい環境づくりを推進する。	③取組の課題	通年開館は定着してきたが、さらなる利用促進を図る。
②今年度(H28)に実施した取組	ホームページや広報等を活用して施設の利用状況と空き状況を周知した。	④今後の改善計画	ホール及びホワイエの、稼働率とコスト面を考慮した効率的な施設運営を図る。調理室の利用促進を図る。